DAY 1

東京 TOKYO 7/6 (土) 会場：浅草橋ヒューリックホール

司会／森山 晃嗣・小林禎

9:30 ▼ 9:50 — 8:50 開場

開会挨拶

Frank Cousineau
フランク・コウジノウ
米国がんコントロール協会会長

森山 晃嗣
もりやま あきつぐ
NPO 法人がんコントロール協会理事長

9:50 ▼ 10:50

「4 年目を迎えた大ホリスティック医学」

帯津 良一（おびつ りょういち）

医師・医学博士、帯津三敬病院名誉院長。東京大学医学部卒。西洋医学に中国医学や代替療法を取り入れ、医療の東西融合という新機軸を基に、がん患者などの治療に当たる。人間をまるごと捉えるホリスティック医学の第一人者として、日本ホリスティック医学協会名誉会長、日本ホメオパシー医学会理事長なども務め、その実績は高く評価されている。主な著書「いい場を創ろう」「呼吸はだいじ」「不養生訓 帯津良一ときのきのススメ」「大ホリスティックな生き方」他多数。

10:50 ▼ 12:00

「“トータリティー” ～現代こそ見直される Dr. ゲルソンの百年遺産～」

Antia Wilson（アニータ・ウィルソン）

ゲルソン・インスティテュート代表。米国非営利法人ゲルソン・インスティテュートは、Dr. マックス・ゲルソンの三女シャルロッテ・ゲルソンと米国がんコントロール協会元代表ノーマン・フリッツにより 1978 年、サンディエゴに設立された。以来、Dr. マックス・ゲルソンが“トータリティー（全体性）”を重んじシステム化した健康回復プログラムを広く世界の人々に伝え、専門家教育などを行い受け継がれ、ゲルソン療法の歴史は今 100 年を迎えようとしている。2003 年、その経験と手腕を請われてゲルソン・インスティテュート代表に就任。そして現職に従事しながら、創造力と情熱に従い地球トータルの環境回復に取り組む仲間たちとの交流も大切にしている。

12:00 ▶ 13:10 — **昼休憩** お弁当の販売を致します（添加物・保存料不使用）

13:10 ▼ 14:10

「再生未来でのがんの免疫治療、遺伝子治療、物理的治療」

秋山 真一郎（あきやま しんいちろう）

医師・医学博士 医療法人再生未来グループ総院長、R 未来がん国際クリニック院長、マギル大学客員教授（カナダ・モントリオール）、札幌医科大学卒。平成 8 年宇宙開発事業団宇宙医学研究開発室医長、九段クリニック 総院長兼免疫細胞療法センター所長等へて、平成 26 年 R 未来がん国際クリニック院長に就任。がん免疫治療として、マクロファージ活性化療法、初乳 MAF、Coley（コーリー）ワクチン、ハイパー T/NK 細胞療法、樹状細胞治療、光＋超音波ダイナミック療法、アミグダリン（ビタミン B17）等多角的療法で成果を上げている。著書に「最新の癌免疫細胞療法―リンパ球療法から樹状細胞癌ワクチンまで」共著。

14:10 ▼ 15:10

「がん休眠療法 ～個々の適量による抗癌剤治療～」

高橋 豊（たかはし ゆたか）

医師、金沢大学医学部卒。昭和 60 年に金沢大学がん研究所外科助手、昭和 62 年に国立がんセンター研修医（肺癌）。平成 2 年に金沢大学がん研究所外科講師に、同 5 年に助教授となる。平成 6 年にテキサス大学 M.D. アンダーソン癌研究所にて転移の研究を行う。平成 8 年にがん休眠療法を提唱、平成 14 年にテキサス大学 M.D. アンダーソン癌研究所の客員準教授となる。元金沢大学がん研究所腫瘍外科教授、現在は国際医療福祉大学市川病院教授、同化学療法部長。著書に「がん休眠療法」。

15:10 ▶ 15:50 — **休憩** 講師の著書等を販売致します

15:50 ▼ 16:50

「放射線ホルミシスはミトコンドリアを活性化する！」

水上 治（みずかみ おさむ）

医師・医学博士　健康増進クリニック院長（東京市ケ谷）。弘前大学医学部卒、90 年より米国カリフォルニア州ロマリンダ大学公衆衛生大学院で学び、94 年卒業。日本オーソモレキュラー医学会理事長　ホルミシス臨床研究会理事。主として欧米からあらゆる医療情報を集め、先端の西洋医療を大切にしながら補完医療を加えて、癌統合医療では日本トップクラスの診療内容を実践している。著書に「難しいことは分かりませんが、（がん）にならない方法を教えてください！」他。

16:50 ▼ 17:50

「伝え続けて 40 年！ 正常分子栄養学 ®」

森山 晃嗣（もりやま あきつぐ）

NPO 法人がんコントロール協会理事長。
食事療法によって病気を克服した体験をきっかけに、米国医大通信講座で正常分子栄養学を学び、その後 30 年以上にわたり ロジャー・ウィリアムス博士、エイブラハム・ホッファー博士、ライナス・ポーリング博士らの生物学的医療の基本となる栄養について学ぶ。著書に「アメリカはなぜガンが減少したか」「がん難民 119 番―救済・治療先進国アメリカに学ぶ」「脳身快適」他。

17:50 ▼ 18:50

「知性を再構築せよ！嘘だらけ現代世界」

船瀬 俊介（ふなせ しゅんすけ）

消費・環境問題評論家　九州大学理学部入学（中退）、早稲田大学社会学科を卒業後、日本消費者連盟に参加。『消費者レポート』などの編集等を担当する。また日米学生会議の日本代表として訪米、米消費者連盟（CU）と交流。独立後は消費者、環境問題を中心に執筆、講演活動を展開。
著書に「抗がん剤で殺される」「3 日食べなきゃ、7 割治る！」「書かずに死ねるか！新聞・テレビが絶対に報じない《日本の真相！》」「買うな！使うな！身近に潜むアブナイもの PART1」他。

※講師及び時間は一部変更することがあります。

DAY 2

東京 TOKYO 7/7 (日) 会場：浅草橋ヒューリックホール

司会／森山 晃嗣・小林禎

9:40 ▼ 9:50 — 8:50 開場

開会挨拶

森山 晃嗣
もりやま あきつぐ
NPO 法人がんコントロール協会理事長

9:50 ▼ 10:50

「腸内フローラからみる最新予防医学」

藤田 紘一郎（ふじた こういちろう）

医師・医学博士、東京医科歯科大学名誉教授。東京医科歯科大学医学部卒。東京大学伝染病研究所大学院終了。専門は寄生虫学と熱帯病学。特に寄生虫関連の一般書で広く知られるようになった。また、花粉症の原因を寄生虫を撲滅しすぎたためとする説を広めたことでも知られる。主な著書に「体にいい寄生虫」「健康長寿は（腸から下）が決め手」「病気にならない乳酸菌生活」「手を洗いすぎてはいけない～超清潔志向が人類を滅ぼす～」「消えない不調は（腸疲労）が原因～最強の免疫力のつくり方～」「（腸）が喜ぶお酒の飲み方」他。

10:50 ▼ 11:50

「がんとビタミン・ケトン療法」

水野 雅登（みずの まさと）

医師、アキバ水野クリニック院長。一般社団法人ビタミン・ケトン療法会代表理事、杏林大学医学部卒。同大学病院の高齢医学科に所属、東京警察病院を経て、2006 年より友愛病院に勤務。両親とも糖尿病家系だった自らの体の劇的な変化をきっかけに、糖質制限を中心とした治療を開始、97 単位に及ぶインスリンの自己注射を不要とするなど、2 型糖尿病患者の脱インスリン率 100% という実績を打ち出す。糖質制限やインスリンを使わない治療法などの情報をブログ、講演会等で精力的に発信、がんに対するビタミン・ケトン療法も実践中。本年 4 月にアキバ水野クリニックを開院。著書に「薬に頼らず血糖値を下げる方法」「いま、糖質制限がすごい！ケトン体生活のススメ」共著、他。

11:50 ▶ 13:10 — **昼休憩** お弁当の販売を致します（添加物・保存料不使用）
リラックス体操（昼休憩後半に 15 分位）

13:10 ▼ 14:10

「病院の外で統合療法 富士山麓ウエルネス・リトリートから ～社会的処方箋や自然欠乏症候群を踏まえて～」

山本 竜隆（やまもと たつたか）

医師・医学博士　WELLNESS UNION（朝霧高原診療所・日月俱楽部・富士山静養園）代表。　聖マリアンナ医科大学医学部卒。昭和大学大学院博士課程修了。内科臨床・研究の後、米国アリゾナ大学医学部統合医療プログラム Associate Fellow（アンドルー・ワイル主宰）をアジアで初めて修了。日本初となった統合医療施設「統合医療ビレッジ」開設の中心的な役割を果たし、初代院長＆プロデューサーとなる。その後は欧州郊外の滞在型ウエルネス施設を数多く視察し、約 10 年前に、地域では 51 年ぶりとなる診療所を開設、また富士山麓の 20000 坪以上の広大な敷地からなる 2 つの滞在施設を運営し、各種の滞在・休感型プログラムを構築・提供している。著書に「統合医療のすすめ―治る力を呼びさます」他。

14:10 ▼ 15:10

「糖質制限で、学業成績・運動能力が UP！ 不登校・学習障害も改善！」

三島 学（みしま まなぶ）

三島塾塾長。1950 年、宮城県生まれ。大東文化大学大学院中国学博士課程修了。高校教員、代々木ゼミナール予備校講師を経て、2008 年、三島塾を立ち上げる。一貫して教育に携わり、40 年を越える経験を活かした教育指導には定評がある。自らの糖尿病治療のため、「江部式・糖質制限」に出合い、実践したところ劇的な改善をみる。その効果を塾においても活用した結果、「糖質制限と学習指導」のセットで大きな成果を挙げ、全国のみならず海外からも塾生が集まる人気塾になる。著書に「糖質制限で頭がいい子になる 三島塾のすごい子育て」「（糖質制限）が子供を救う」「マンガでわかる！食事で改善、親が怒らなくても自分で勉強する子に ― 糖質制限とアドラー心理学で子どもがのびる」他。

15:10 ▶ 15:50 — **休憩** 講師の著書等を販売致します

15:50 ▼ 16:50

「がん統合療法特区 ～ティファナからの最前線報告！～」

Antonio Jimenez（アントニオ・ヒメネス）

Hope4Cancer Instituteーメディカルディレクター 、M.D.　N.D.
メキシコのティファナで Hope4Cancer 研究所の創設者兼メディカルディレクターで、過去にわたり 25 年間世界中のがん患者に、安全で効果的かつ非毒性の治療法を研鑽し、がん患者に捧げている。「高圧酸素療法、低温プラズマオゾン療法、ソノフォトダイナミックセラピー、温熱、AARSOTA バイオ光免疫療法（癌ワクチン）」等。

16:50 ▼ 17:50

「治る力と意識の関係 ～私のガンはなぜ治ったか～」

寺山 心一翁（てらやま しんいちろう）

意識の超越理論創案者、ホリスティック経営コンサルタント。早稲田大学第一理工学部卒。大学で物性物理を学び東芝に入社、半導体素子の開発などに従事。1984 年右腎臓ガンを患い、三大療法のあと肺などに転移、死を覚悟で退院。自宅でガンに愛を送り、チャクラを開き、チェロの波動でガンは自然治癒する。著書に「ガンが消えた～ある自然治癒の記録～」「フィンドホーンへのいざない」他。

17:50 ▶ **閉会挨拶** フランク・コウジノウ（米国がんコントロール協会会長）・森山 晃嗣（NPO 法人がんコントロール協会理事長）

※講師及び時間は一部変更することがあります。

DAY 3

京都 KYOTO 7/13 (土) 会場：京都テルサ（京都府民総合交流プラザ）

司会／森山 晃嗣・森山瑠水

9:30 ▼ 9:45 — 9:00 開場

開会挨拶

Frank Cousineau
フランク・コウジノウ
米国がんコントロール協会会長

森山 晃嗣
もりやま あきつぐ
NPO 法人がんコントロール協会理事長

9:45 ▼ 10:45

「がん統合療法特区 ～ティファナからの最前線報告！～」

Antonio Jimenez（アントニオ・ヒメネス）

Hope4Cancer Instituteーメディカルディレクター 、M.D.　N.D.
メキシコのティファナで Hope4Cancer 研究所の創設者兼メディカルディレクターで、過去にわたり 25 年間世界中のがん患者に、安全で効果的かつ非毒性の治療法を研鑽し、がん患者に捧げている。「高圧酸素療法、低温プラズマオゾン療法、ソノフォトダイナミックセラピー、温熱、AARSOTA バイオ光免疫療法（癌ワクチン）」等。

10:45 ▼ 11:30

「伝え続けて 40 年！ 正常分子栄養学 ®」

森山 晃嗣（もりやま あきつぐ）

NPO 法人がんコントロール協会理事長。食事療法によって病気を克服した体験をきっかけに、米国医大通信講座で正常分子栄養学を学び、その後 30 年以上にわたり ロジャー・ウィリアムス博士、エイブラハム・ホッファー博士、ライナス・ポーリング博士らの生物学的医療の基本となる栄養について学ぶ。著書に「アメリカはなぜガンが減少したか」「がん難民 119 番―救済・治療先進国アメリカに学ぶ」「脳身快適」他。

11:30 ▼ 12:30

「がんとは何か？ その本質は NHE-1 だ」

和田 洋巳（わだ ひろみ）

医師・医学博士 京都大学名誉教授、京都大学医学部卒。からうす和田クリニック院長（京都市）。
がん専門医として 40 年近く京大病院に勤務、2011 年 1 月に、京都市中京区にからうす和田クリニックを開院。これまでの自分のがん治療の経験から、大切なことは患者さんとの対話であると実感し、患者さんそれぞれの気持ちを大切にしながら、どのようにして QOL を上げていくかを共に考えていく治療を施し成果をあげている。著書に「がんとは何か？その本質は NHE1 だ！がんの生きる仕組みとそれを用いたがん治療法」（共著・監修）「がんを生き抜く最強ごはん」他。

12:30 ▶ 13:40 — **昼休憩** お弁当の販売を予定しています・講師の著書等を販売致します

13:40 ▼ 14:40

「経験医学から理論医学へ ～治療成績は異次元のものとなる！～」

新井 圭輔（あらい けいすけ）

医師・あさひ内科クリニック院長（福島県郡山市）　京都大学医学部卒。昭和 56 年島根医科大学放射線科助手、昭和 59 年京都大学医学部付属病院核医学科医員、昭和 62 年より市立島田市民病院放射線科に勤務し、10 年間ガンの診断と診療に携わる。平成 9 年 4 月 郡山市にてあさひ内科クリニックを開業。放射線ホルミシス、糖質制限による糖尿病・メタボ治療、糖質制限による健康長寿、更には厳格な糖質制限による癌治療に踏み込み、その成果を確信している。著書に「糖尿病に勝ちたければ、インスリンに頼るのをやめなさい」「スーパードクターズ！ いま、糖質制限がすごい！」共著。

14:40 ▼ 15:40

「自然療法による癌の予防と克服について」

石川 眞樹夫（いしかわ まきお）

医師・クリニック光のいずみ院長（札幌市）秋田大学医学部卒。1996 年にイギリスでバッチフラワーレメディの実践使用者（プラクティショナー）としての訓練を終え国際登録プラクティショナーになり、以後バッチフラワーレメディを用いる自然療法内科医として活躍。2015 年、札幌市に、NLP カウンセリング、バッチフラワーレメディ等を用いる自然療法クリニックを開設。合併症をかかえ、多くの処方薬を服用して副作用で悩んでいる人々や、難治性のアレルギー疾患・難病などで苦しむ子どもさん達の療養を支援し、自然療法、食事療法により、少しでも薬剤の使用を減らし、その人らしい生活と健康を維持出来るよう、医師として研究を続け、実績を重ねている。著書に「自然療法による回復を求めて」。

15:40 ▶ 16:20 — **休憩** 講師の著書等を販売致します

16:20 ▼ 17:20

「繁殖終えたら“穏やかに死んで見せる”という最後の責務を考えよう」

中村 仁一（なかむら じんいち）

医師、医療評論家、京都大学医学部卒。財団法人高雄病院院長、理事長を経て、2000 年より社会福祉法人老人ホーム「同和園」附属診療所所長。1996 年より、市民グループ「自分の死を考える集い」を主宰、医師による延命治療の拒否を唱えている。著書に「濃厚医療で苦しまない大往生実践ガイド」「大往生したけりゃ医療とかかわるな（自然死）のすすめ」他。

17:20 ▼ 18:20

「糖質過多の生活に未来はない！ 糖尿病・癌・認知症さようなら！」

宗田 哲男（むねだ てつお）

医師　宗田マタニティクリニック院長（千葉県市原市）。1965 年北海道大学理学部入学、卒業後国際航業入社。その後医師を志し 1973 年帝京大学医学部入学、病院勤務を経て千葉の市原に宗田マタニティクリニック開院。妊娠糖尿病で苦しんでいる妊婦さんとそのお腹の子を救いたい！との思いから探求を重ね、胎児や赤ちゃんが糖質制限していることを発見し、日本の産婦人科界のデファクトスタンダードに反する糖質制限の食事法で多くの糖尿病妊婦を救っている。著書に「いま、糖質制限がすごい！ケトン体生活のススメ」「甘いもの中毒　私たちを蝕む《マイルドドラッグ》の正体」「最強の油・MCT オイルで病気知らずの体になる！認知症、糖尿病、うつ病予防＆ダイエット効果も」「（ケトン体）こそ人類史上、最強の薬である。」

18:20 ▶ **閉会挨拶** フランク・コウジノウ（米国がんコントロール協会会長）・森山 晃嗣（NPO 法人がんコントロール協会理事長）

※講師及び時間は一部変更することがあります。